

■スリランカ：渇水による電力不足で輪番停電を実施

2019年3月28日付等の各種報道によると、スリランカで、乾季の水不足により水力発電所のダムが水位が低下し、電力不足が生じている。セイロン電力庁（CEB）は3月25日以降、平日は1日4時間の輪番停電を実施し、電力・エネルギー相は3月28日、すべての需要家に対して、水力発電所のダムが水位が戻るまでの当面3カ月間、10%の節電を要請した。スリランカでは、水力発電が電源構成（発電電力量）の4割以上を占め、同国のピーク需要は約240万kWである。